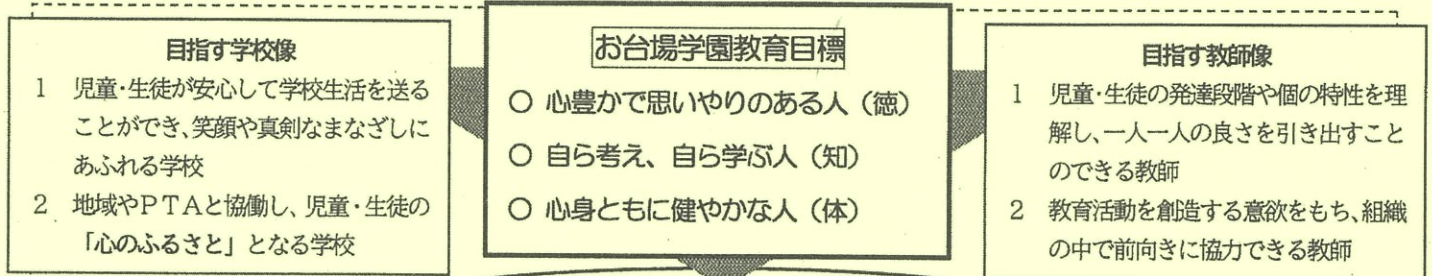


# 令和6年度 港区立小中一貫教育校お台場学園 港陽小学校・港陽中学校 学校経営計画

20240401

「港区教育ビジョン」や「港区学校教育推進計画（後期）」を踏まえ、学校運営協議会を設置した小中一貫教育校として教育活動を実施することにより、徳・知・体の調和のとれた「生きる力」の育成を図る。

港区の学校経営の視点 1 児童・生徒が安全で安心して過ごすことができる学校づくり  
2 子どもたちがいきいきと楽しく学ぶことができる学校づくり 3 保護者・地域に信頼される学校づくり



## 地域と共にある特色ある学校づくり

- 1 **コミュニティ・スクール**として、学校運営協議会と連携した教育活動を展開する。地域にある保、幼・小中の接続・連携を重視するとともに、地域コーディネーターと連携し、保護者や地域と協働しながら地域の教育資源を積極的に活用する。
- 2 小中一貫教育校として、港陽小・中の職員が連携した教育活動の実施、9年間を見通した ODAIBA プランに基づく授業を展開する。

## < 具体的な取組 > ★:港区学校教育推進計画「重点事業」

【豊かな心の育成】 幼児・児童・生徒が、学校生活の多様な場面で、計画的な相互交流を行い、リーダーシップの発揮、助け合い、学び合いを通して、思いやりのある豊かな心を育む。

- ① 「特別の教科 道徳」の研究(R1～3年度)の実践の継続(ほほいきなり中心発問、全校道徳等)
- ② **いじめ防止推進事業の充実★** アンケート調査やいじめ対策校内委員会の開催
- ③ 生徒会、代表委員会、レインボー班活動等による自主的活動・自治活動の設定や WEBQU を活用した望ましい学級・学年集団の育成
- ④ デジタルシチズンシップ教育の充実(SNS ODAIBA ルールの徹底、セーフティ教室の実施等による情報モラルの向上)
- ⑤ 教育相談体制の充実(SC、SSW との連携)
- ⑥ 保育実習、絵本読み聞かせ等による幼・保との連携

【確かな学力の定着・充実】 小中学校の学びの接続・系統性を重視しながら、**基礎学力・活用力の習得★**を図る。

- ① **ICTを活用した学びの充実★** ユニバーサル・デザインの視点を取り入れ、タブレット等を効果的に活用した複線型授業の実践(全日本教育工学協会:JAET)全国大会での公開授業の実施
- ② **国際理解教育の充実★**
- ③ 家庭・音楽の教科を中心に小中の接続を意識した授業
- ⑤ 少人数指導、教科担任制による教科授業の実施(算数・数学、体育、英語他)
- ⑥ 読書活動の充実(朝読書、読書週間等)
- ⑦ 基礎学力の向上(基礎基本の時間、朝学習でのタブレットや脳活性化トレーニング等の実施)
- ⑧ 地域学校協働としての英語検定、漢字検定等の実施

【健康でたくましい体】 体育、保健体育の授業及び、体育的行事や運動部活動の充実を図り、**健康な体づくり★**を推進する。進んで運動しようとする態度を育てて体力の向上を図る。関係機関と連携した保健教育や食育を推進し、望ましい生活習慣を身に付けさせる。

- ① 幼・小中合同運動会の実施
- ② 体育朝会、外遊び等の充実、ボルダリング設備の活用
- ③ 持久走への取組(お台場マラソン)、体力向上週間(長縄月間)等の設定
- ④ 健康アップ会議(学校保健委員会)の開催
- ⑤ ゲストティーチャーを活用した授業の積極的な実施(ビーチバレーボール、タグラグビー、薬物乱用防止教室、感染症やがんについての授業等)
- ⑥ 給食を中心とした食育の充実

【特色ある教育の推進・保護者、地域との連携】 PTAや地域行事に積極的にかかわり、教職員、保護者、地域住民相互の連携を深め、地域に根差した魅力ある学校づくりを進める。

- ① お台場海浜公園を中心とした**環境教育の充実★**(お台場海苔づくり、セーリングヨット部、外部の教育資源)
- ② 地域防災への貢献(お台場学園防災 Jr.チームの活動、地区防災訓練への参加等)
- ③ キャリア教育等の地域の企業・事業所との連携(乃村工芸社、アクアシティ、船の科学館等)
- ④ 地域行事への積極的な協力(お台場夏祭り、水辺フェスタ等)
- ⑤ お台場水族館やビオトープ、太陽光発電装置等の活用

【特別支援教育の推進】 学校全体で、特別支援教育に対する理解を深めながら、インクルーシブ教育を推進する。

- ① 「さざなみ学級」及び「そよかせ教室」での、個に応じた教育の充実
- ② さざなみ学級との連携
- ③ 対象児童・生徒への「結-EN」の活用

【教職員の働き方改革の推進】★ ライフ・ワークバランス意識した環境整備の推進

- ① 毎週水曜日の定時退勤
- ② 長期休業期間の学校閉庁日
- ③ Teams 等を活用した会議・情報共有のDX化推進
- ④ 地域コーディネーターとの連携
- ⑤ スクールサポートスタッフの活用
- ⑥ 教科担任制・講師や部活動指導員制度の活用
- ⑦ 学校衛生委員会の設置・運営